

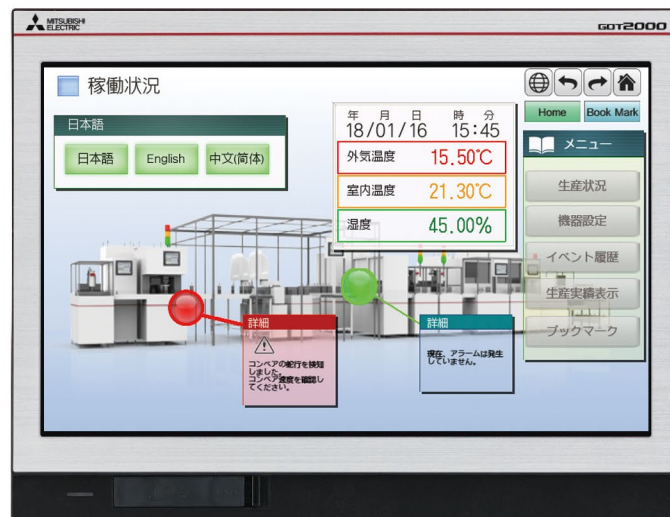
三菱電機グラフィックオペレーションターミナル GOT2000 NEWS Vol.9

2018年2月
GT Works3 Ver.1.185T版

画面のトータルデザインをサポート！ 新描画方式 [GOT Graphic Ver.2]が登場！

選ぶだけでスタイリッシュな画面を簡単に作成できる

新描画方式 [GOT Graphic Ver.2]



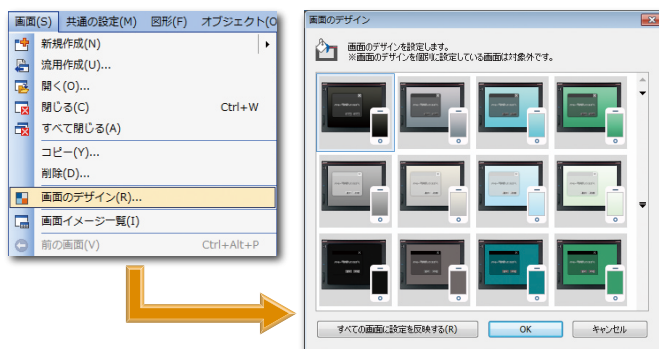
好みのデザインテーマの選択が可能に

テーマ別のデザインからお好みのデザインを選択するだけで、きれいなグラデーション背景が簡単に設定できます。

Ver.1.185T以前のGT Designer3で作成したプロジェクトデータも、新描画方式に変換して使用できます*。

もちろん、画面ごとに個別でカスタマイズすることも可能です。

*一部機能に制約があります。詳細は、GT Designer3 (GOT2000)画面設計マニュアルをご参照ください。



さらにここが進化！

- 1 画面の背景にグラデーションを設定できる
- 2 ウィンドウ画面や、アラームポップアップ表示を透過できる
- 3 ウィンドウ画面の輪郭形状を設定できる
- 4 システムキーウィンドウのデザインがスタイリッシュに進化
- 5 図形のアンチエイリアス処理で見栄え向上
- 6 すべての画面背景を一括で設定・変更できる

詳細は中面をチェック▶▶▶

画面のトータルデザインをサポート!

NEW

ここが進化した!6つのポイント

新描画方式 [GOT Graphic Ver.2]

POINT

1 画面の背景にグラデーションを設定できる

画面のプロパティの「塗り潰し効果」で、2色のグラデーションが簡単に設定できます。また、グラデーションの種類やバリエーションも選択できます。

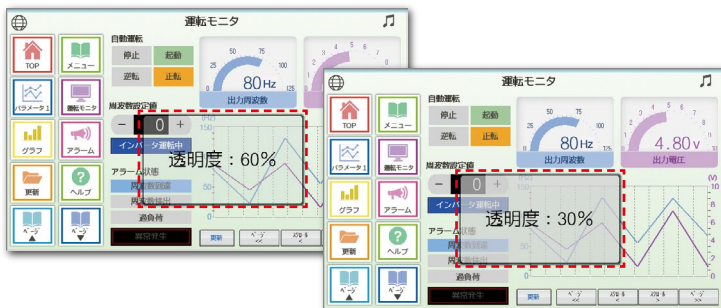


POINT

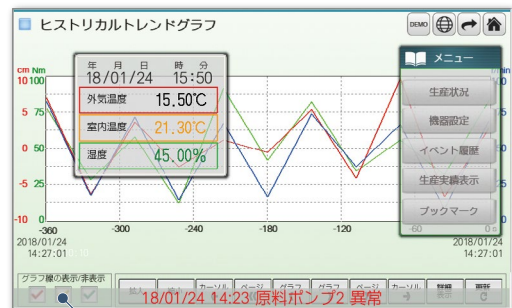
2 ウィンドウ画面や、アラームポップアップ表示を透過できる

ウィンドウ画面で背景色の透過度を自由に設定できます。透過することでベース画面の全体像を把握しながら、ウィンドウ画面を確認、操作できます。また、アラームポップアップも透過するので下のベース画面を邪魔することなく表示できます。

ウィンドウ画面の透過度を自由に設定



アラームポップアップ表示が透過



POINT

3 ウィンドウ画面の輪廓形状を設定できる

ウィンドウ画面の輪廓を四角または角丸に設定できます。角丸の場合は半径を自由に設定できます。



POINT

4 システムキーウィンドウのデザインがスタイリッシュに進化

画面のデザインに合わせたシステムキーウィンドウを複数ご用意しました。

お客様の画面デザインに合わせたプリセットを選択することで、そのデザインに合ったテンキーを使用できます。また、キーウィンドウを移動する際に透過するため、下の画面を確認しながら移動できます。

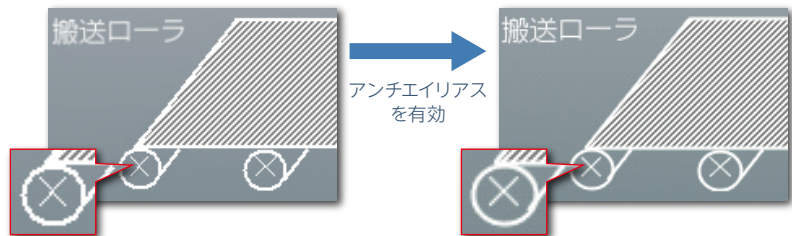
*GT21は非対応です。



POINT

5 図形のアンチエイリアス処理で見栄え向上

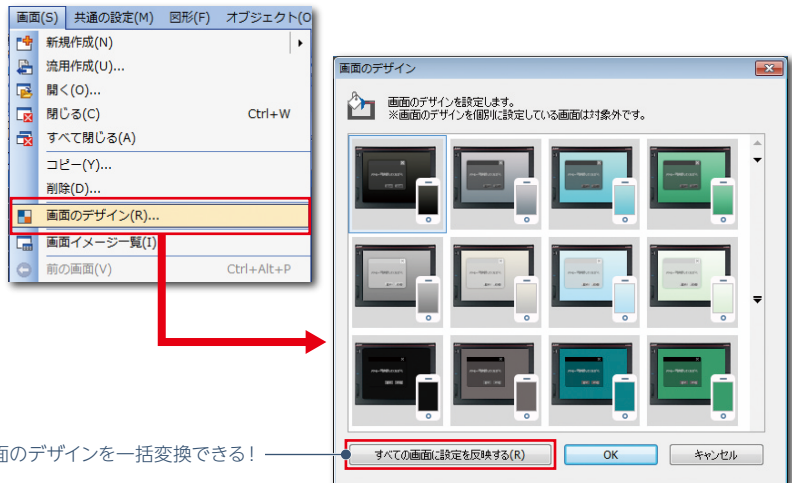
画面上の文字だけでなく、図形の輪郭もアンチエイリアス処理ができるようになりました。画面全体でなめらかな描画が可能になり、ストレスを感じないキレイな画面を作成できます。



POINT

6 すべての画面背景を一括で設定・変更できる

プリセットからお好みのデザインを選ぶだけですべての画面の背景を一括で設定できます。プロジェクト全体の画面デザインを簡単に統一でき、作業工数を削減できます。



画面のデザインを一括変換できる！

画面流用をサポート！

Ver.UP

画面の流用作成がさらに簡単に

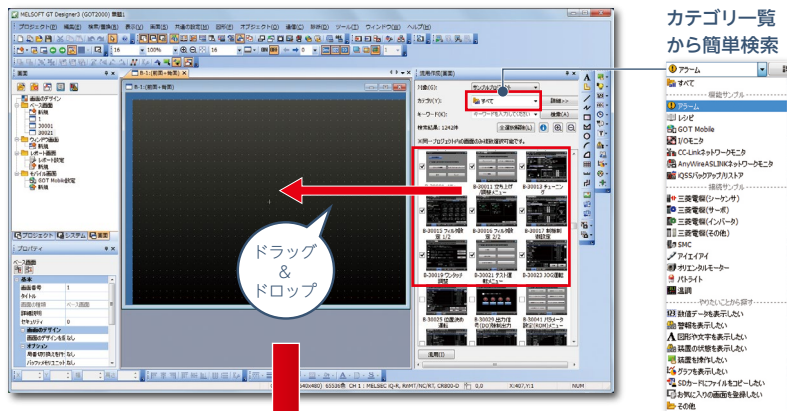
流用作成ウィザード

POINT

1 サンプル画面や既存のプロジェクトデータを簡単に流用できる

過去に作成したプロジェクトやサンプルプロジェクトから、画面単位での流用が可能です。流用する画面は、カテゴリやキーワードなどから簡単に検索できます。

複数の画面を選択してドラッグ&ドロップすると、流用作成ウィザードが起動します。ウィザード画面にある5ステップの設定変更で簡単に画面データを流用できます。



流用作成ウィザード

5つのステップでわかりやすくナビゲート



POINT

2 ウィザード画面のガイダンスにしたがって設定を進めていくだけで、複数の画面を簡単に流用できる

流用作成ウィザード：流用する画面の設定

複数の画面を選択してドラッグ&ドロップすると、流用作成ウィザードが起動します。

編集中のプロジェクトと画面番号が重複した場合、重複している番号が赤字で表示されるので、編集中のプロジェクトで使用していない番号を確認しながら変更できます。



流用先のプロジェクトと、番号が重複している画面番号を赤字で表示

POINT

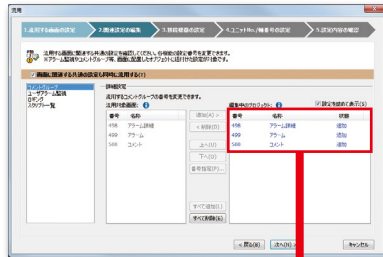
3 流用する画面に関連する設定 (コメントグループ、ログイン、スクリプトなど) も一緒に流用できる

流用作成ウィザード: 関連設定の編集

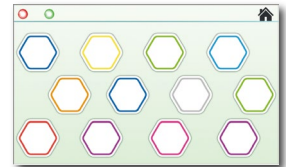
流用する画面に関連するコメントグループやスクリプトも一緒に流用できます。

流用作成ウィザードに関連する設定がリストアップされるので、流用の有無、流用先の番号を簡単に変更できます。

コメントグループの流用の場合



従来は コメントの再設定が必要...



これからは 流用するだけでOK!



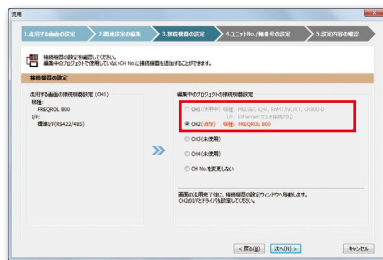
POINT

4 流用する画面の接続機器の設定も簡単に変更できる

流用作成ウィザード: 接続機器の設定

流用する画面の接続機器の設定を、編集中のプロジェクトの空きチャンネルに割り当てることができます。

CH2に流用する画面の接続機器を追加

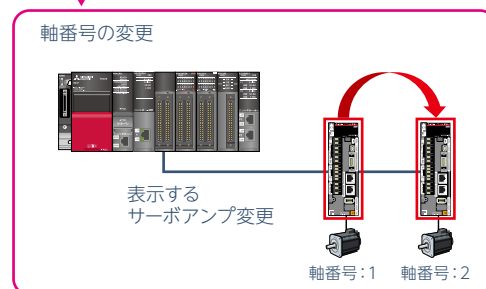
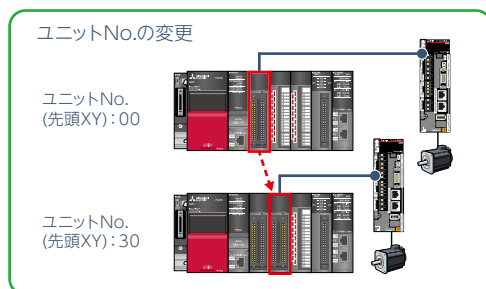
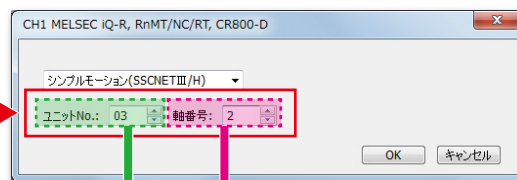


POINT

5 サーボアンプの軸番号やシンプルモーションのユニットNo.を実際の構成に合わせて一括変更できる

流用作成ウィザード: ユニットNo./軸番号の設定

システム構成が異なる画面を流用する場合、流用元のユニットNo.や軸番号を変更して簡単に流用できます。



画面作成をサポート!

Ver.UP

GOTタイプ変換時の自動拡大縮小機能が拡充

GOTタイプ変換

解像度の異なるGOTタイプに変更する時に、自動で拡大縮小されるオブジェクトとして、アラーム表示やヒストリカルデータリスト表示などを追加しました。解像度が異なる画面への置き換えがさらに簡単になり、作業効率を向上します。

追加対象オブジェクト: アラーム表示、ヒストリカルデータリスト表示、データリスト表示、レシピ表示(レコード一覧)

GOTタイプの解像度がVGAからSVGAに変更になる場合



立ち上げをサポート!

Ver.UP

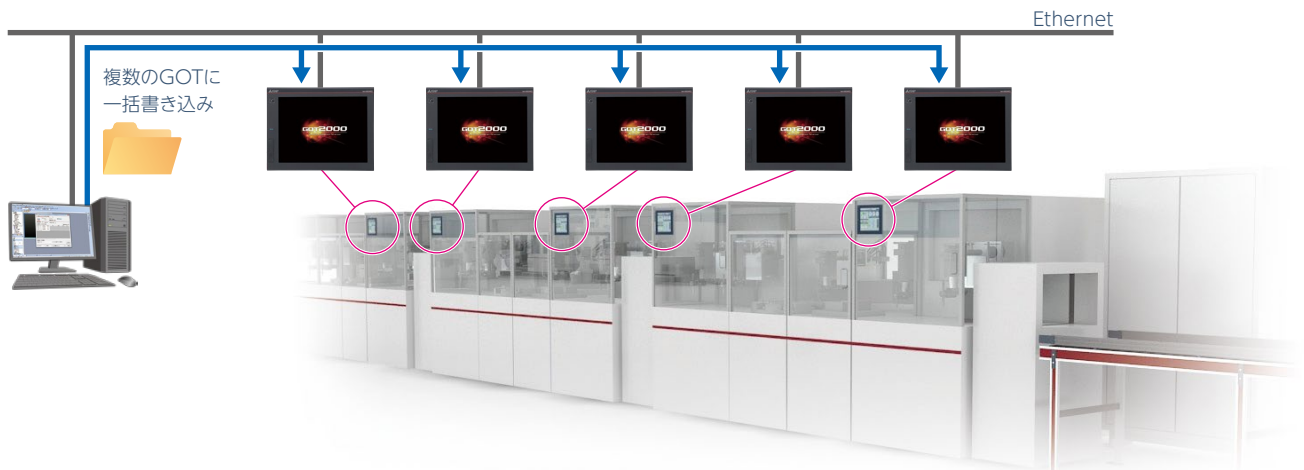
プロジェクトデータの更新が簡単に

データ転送

1つのパッケージデータ(プロジェクトデータや通信ドライバなどを)、Ethernetで接続した複数のGOTに一括で書き込むことができます。

複数のGOTに一括で書き込むことで、データ転送時間の短縮やデータ更新漏れの防止ができます。(最大256台)

大きな装置に同じプロジェクトデータを共有するGOTが複数台ある場合に、画面を修正・更新する作業負担を軽減します。



現場でのトラブルシューティングをサポート!

Ver.UP

PDFで見たい箇所にすばやくアクセスできる ドキュメント表示

しおり表示やキーワード検索で、知りたい情報をすぐに表示し、確認できます。

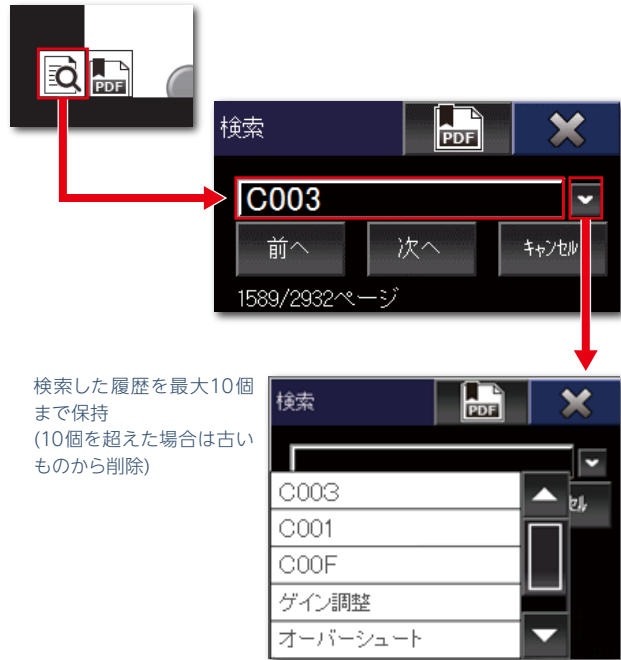
*GT21は非対応です。

しおり表示



「しおり」ウィンドウを表示し、「しおり」から表示したいページに移動

キーワード検索



検索した履歴を最大10個まで保持
(10個を超えた場合は古いものから削除)

検索ウィンドウを表示し、キーワードを入力すると、キーワードが含まれるページに移動

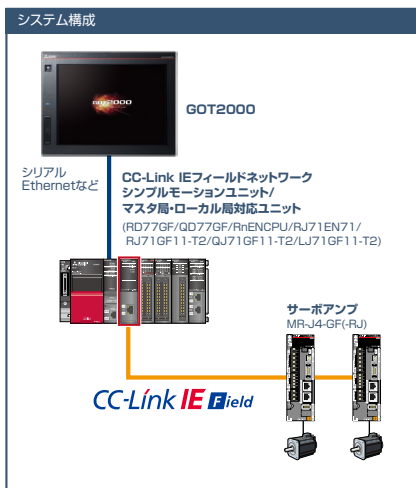
NEW

駆動機器連携でさらに使いやすく GOT Drive

CC-Link IE フィールドネットワーク接続のサーボアンプのモニタが出来るようになりました。

ドライブレコーダ機能にも対応し、GOTでサーボデータ(モータ電流、位置指令など)を確認でき、トラブル発生時に活躍します。

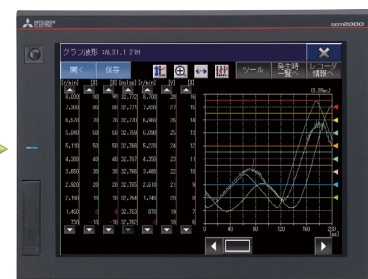
*GT21は非対応です。



ドライブレコーダ情報一覧画面



グラフ波形画面



GOTのSDメモリーカードやUSBメモリーにサーボデータを取り出して、事務所で確認、解析できる!

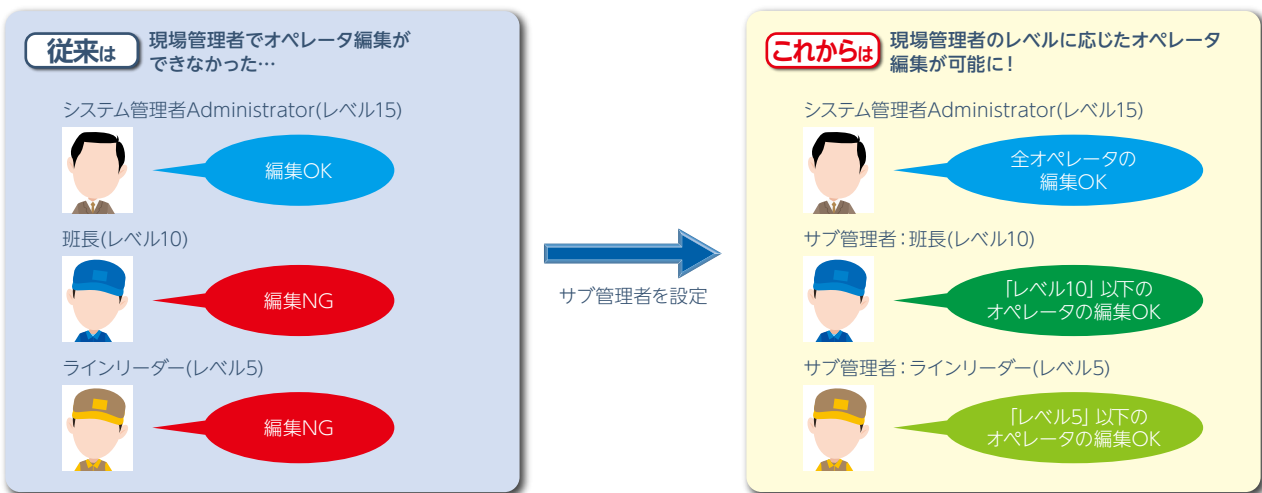
セキュリティ&システム運用をサポート!

Ver.UP

複数の管理者によるオペレータ管理を実現 オペレータ認証

「サブ管理者」を設定することでシステム管理者以外でもオペレータ管理情報を編集できるようになりました。サブ管理者のレベル(権限)を設定でき、そのレベルにより編集可能な範囲を制限できるので、セキュリティを確保しつつ、複数の管理者によるオペレータ管理を実現します。

*GT21は非対応です。



Ver.UP

オペレータ情報の編集内容を操作ログに記録できる 操作ログ

システム管理者およびサブ管理者がオペレータ管理情報の編集を行った場合、誰が・いつ・どのオペレータ情報を編集したか、操作内容を操作ログとして記録することができます。

*GT21は非対応です。



オペレータ情報を編集すると…



オペレータ情報を「誰が・いつ」変更したかを記録できる!

三菱電機 FA 検索

www.MitsubishiElectric.co.jp/fa

メンバー登録無料!

インターネットによる情報サービス「三菱電機FAサイト」
三菱電機FAサイトでは、製品や事例などの技術情報に加え、トレーニングスクール情報や各種お問い合わせ窓口をご提供しています。また、メンバー登録いただくマニュアルやCADデータ等のダウンロード、eラーニングなどの各種サービスをご利用いただけます。

安全に関するご注意

本資料に記載された製品を正しくお使いいただくために、ご使用前に必ず「マニュアル」をお読みください。

商標、登録商標について

本文中の製品名、社名はそれぞれの会社の商標、または登録商標です。

写真の色等は印刷のため、実物と若干異なる場合があります。
また画面においても、はめ込み合成のため実際の表示と異なる場合があります。

三菱電機株式会社

〒110-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3(東京ビル)

お問い合わせは下記へどうぞ

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 本社……………(03)3218-6760 | 中部支社……………(052)565-3314 |
| 北海道支社……………(011)212-3794 | 豊田支店……………(0565)34-4112 |
| 東北支社……………(022)216-4546 | 関西支社……………(06)6486-4122 |
| 関東支社……………(048)600-5835 | 中国支社……………(082)248-5348 |
| 新潟支店……………(025)241-7227 | 四国支社……………(087)825-0055 |
| 神奈川支社……………(045)224-2624 | 九州支社……………(092)721-2247 |
| 北陸支社……………(076)233-5502 | |

2018年2月作成

この印刷物は、2018年2月の発行です。なお、この印刷物に掲載した内容は、改善のために予告なく変更する場合がありますので、ご採用の節には、事前に弊社までお問い合わせください。